

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護援助論Ⅰ 「妊娠・分娩期の看護」	担当講師	森本 朋子 福田 晴美
実施年次	2 年次	単位数	1 単位	時間数	30 時間
科目設定のねらい 母性看護においてはまず、妊娠・分娩の正常な経過をととして母児の健康と健康問題を理解し、妊婦、産婦の身体的、心理的、社会的特徴をふまえた看護を理解することが重要である。本科目では、妊婦の健康管理と、母親としての準備のための教育的支援や生命誕生の瞬間を迎えるための看護の役割を理解し、妊婦、産婦に必要な看護技術を習得することをねらいとする。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
10	1. 妊婦の身体的、心理的、社会的特徴と妊娠期の看護について理解できる。	1) 正常な妊娠の経過	(1) 妊娠の生理（妊娠の成立） 胎児の発育と生理（付属物） (2) 妊娠期の定義 (3) 妊婦の身体的変化・心理社会的変化 (1) 妊娠時期の検査・診断、健康診査 (2) 妊婦と家族の看護 ① 妊婦の健康診査と保健指導 ② 妊娠の不快症状とその援助 ③ 日常生活行動への援助 ④ 出産・育児準備教育 ⑤ 母性の発達を促す援助 (3) 妊娠期の異常と看護（妊娠悪阻・妊娠貧血）	講義 グループワーク	
4	2. 妊婦の看護に必要な看護技術が理解できる。	2) 妊婦・胎児の健康と生活のアセスメントと看護	(1) 妊婦に必要な看護技術の理解と実際 ① 妊婦の体験学習 ② 診察時の諸計測の方法 腹囲、子宮底長測定 腹部触診法 レオポルド触診法 児心音測定 (トラウベ、ドップラー、分娩監視装置)	講義	演習
12	3. 産婦の身体的、心理的、社会的特徴と分娩期の看護について理解できる。	1) 正常な分娩の経過	(1) 分娩の定義 (2) 分娩の三要素 (3) 分娩の経過と分娩機転	講義 グループワーク	
		2) 産婦・胎児の健康のアセスメントと看護	(1) 分娩が母子に及ぼす影響 (2) 産婦と家族の心理・社会的状態 (3) 分娩各期の看護 基本的ニーズへの支援・産痛緩和 産婦と家族の心理への看護 (4) 異常分娩をきたした産婦の看護 (弛緩出血と看護、微弱陣痛と看護、破水と看護)	講義	
2	4. 事例を通して分娩経過に応じた看護を考えることができる。	1) 分娩経過のアセスメントの実際と看護	(1) 事例①分娩開始の判断と入院時の看護 (2) 事例②陣痛増強時の看護 (3) 事例③破水時の看護		演習
2	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院 石村由利子 編 根拠と事故防止から見た母性看護技術 医学書院				
評価方法	筆記試験、授業の取り組み状況				

授 業 概 要

分野	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護援助論Ⅱ 「褥婦と新生児の看護」	担当講師	栗田紀子・森田利枝 谷口留充
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間
科目設定のねらい 産褥期の正常な経過をふまえ、母となった人の健康と健康問題を身体的、心理的、社会的特徴からアセスメントし、看護することが重要である。本科目では、順調な経過を促進するための日常生活援助とセルフケア、母親役割獲得への支援を学び、同時に未熟な新生児の生理機能に適した環境調整をはじめとした基本的な援助、褥婦、新生児双方に必要な看護技術を習得することをねらいとする。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
8	1. 褥婦の身体的、心理的、社会的特徴と産褥期の看護について理解できる。	1) 正常な産褥の経過 2) 褥婦の健康と生活のアセスメントと看護	(1) 産褥期の定義 (2) 産褥期の身体的特徴 (3) 褥婦と家族の身体的・心理的・社会的変化 (1) 産褥復古促進の援助の理解 (2) 母乳栄養の確立 (3) 褥婦の日常生活とセルフケア 親役割への支援 育児技術獲得への支援 (4) 異常をきたした褥婦の看護 (子宮復古不全、乳房トラブル、産後精神障害)	講義 グループワーク	講義
2	2. 褥婦に必要な看護技術が理解できる。	1) 褥婦に必要な看護技術の実際	(1) 褥婦の看護技術の実際 産褥体操 授乳介助、乳房ケア	演習	
8	3. 新生児の特徴と看護について理解できる。	1) 早期新生児の特徴と生理的变化 2) 早期新生児の健康と発育のアセスメント 3) 早期新生児と家族への看護	(1) 早期新生児の定義と特徴 (1) 身体各機能の評価 (成熟度評価、アプガースコア) (1) 新生児の看護 保育環境 保温 全身の観察 アタッチメント 感染防止 事故防止 (2) 異常をきたした新生児の看護 (高ビリルビン血症)	講義 グループワーク	講義
2	4. 新生児に必要な看護技術が理解できる。	1) 新生児に必要な看護技術の実際	(1) 新生児の看護技術の実際 沐浴 寝衣交換 抱き方寝かせ方	演習	
8	5. 母性看護過程の展開が理解できる。	1) 母性看護過程の展開	<事例演習> 正常産褥期にある褥婦の看護展開	講義 演習	
2	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院 石村由利子 編 根拠と事故防止からみた 母性看護技術 医学書院				
参考文献	竹内 徹 訳 クラウスケネル 親と子のきずな 医学書院 作田 勉 訳 ジョン・ボウルビー著 母子関係入門 星和書店				
評価方法	筆記試験 レポート、授業の取り組み				

授 業 概 要

分野	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護援助論Ⅲ 「ハイリスク周産期と看護」	担当講師	松本典子 橋本みどり
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 妊娠・分娩・出産は人として自然な事象ではあるが、生活習慣や全身疾患などにより異常な過程をたどる場合が少なくない。本科目では、ハイリスク妊娠・出産の基礎的知識を学び、母子双方の命をまもるための看護師の役割について理解することをねらいとする。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 妊娠期の健康問題を理解する。	1) 妊娠期の健康問題	(1) 妊娠期の健康問題 一流産、早産、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 胎児機能不全	講義	
2	2. 分娩期の健康問題を理解する	2) 分娩期の健康問題	(1) 分娩期の健康問題 産道の異常、娩出力の異常 胎児および付属物の異常 分娩時の異常出血 産科手術 (帝王切開術、吸引・鉗子分娩)	講義	
2	3. 産褥期の健康問題を理解する	3) 産褥期の健康問題	(1) 産褥期の健康問題 産褥感染症（産褥熱、乳腺炎、 尿路感染症）子宮復古不全	講義	
8	4. 周産期の健康問題における看護について理解する	4) 周産期の健康問題と看護	(1) 異常をきたした妊産褥婦の看護 ①妊娠高血圧症候群 ②切迫流早産の妊婦の看護 ③帝王切開術を受けた褥婦の看護 ④死産、障害をもつ新生児を出産した親への看護	講義 グループワーク	
1	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				